

新県立中央図書館のDX検討に関する有識者会議 概要

1 設置の目的

新型コロナウイルス感染症の流行を機に、社会のIT活用が一気に進み、人々の活動や思考方法に大きな変革をもたらしている。新県立中央図書館は、このアフターコロナ時代にあって先陣を切ってスタートし、22世紀へ継続していく図書館となる。来るべき未来を予測し、時代のニーズに応えるとともに、持続可能な図書館を実現するためには、今まさに進行しつつある社会のDXの状況を的確にとらえ、アフターコロナ時代の図書館の理想に対し、DXがどのように寄与できるのかを検討し、新館の計画に反映させていくことが必要である。

このため、有識者による検討会議を設け、「新県立中央図書館の目指すべきDX」について長期的な視点での検討を行い、DXの方向性についてとりまとめるとともに、新県立中央図書館の整備計画に反映させていく。

2 設置期間

令和3年6月1日～令和4年3月31日

3 検討事項

新県立中央図書館の目指すべきDXの方向性

- ・ 超高齢社会、Society5.0、IoTの進展など社会の未来像を踏まえ、アフターコロナ時代の新しい生活様式に対応した図書館を実現するための、図書館のDXについて、未来の技術革新を想定して検討
- ・ 上記DXの進むべき方向性を踏まえ、業務システム基本構想への意見聴取及び反映

4 委員構成

(◎会長、50音順、敬称略)

氏名	役職
◎池田 哲夫	静岡県立大学経営情報学部教授 県デジタル戦略顧問
江草 由佳	国立教育政策研究所 総括研究官
岡本 真	アカデミック・リソースガイド(株)代表取締役
斉藤 和巳	神奈川大学理学部情報科学科教授
原田 伸一郎	静岡大学情報学部情報社会学科准教授
山岸 祐己	静岡理工科大学情報学部コンピュータシステム学科講師

※この他、必要に応じて検討内容に即した有識者を臨時委員とする。

5 スケジュール

開催会	開催期日	協議内容
第1回	R3.6	新県立中央図書館の目指すべきDXについて 今後のDX検討の流れについて
第2回	R3.8	DX事務局案の検討 業務システム基本構想案の検討
第3回	R3.12	DXの方向性について
第4回	R4.2	DXの方向性(まとめ)